

令和4年度 学校推薦型選抜 学生募集要項

(大学入学共通テストを課す)

医学部 (地域枠学校推薦型選抜)

医学部 (学校推薦型選抜 中部圏活躍型)

医学部 (学校推薦型選抜 名古屋市高大接続型)

薬学部 (学校推薦型選抜 B)

薬学部 (学校推薦型選抜 B 名古屋市高大接続型)

経済学部 (学校推薦型選抜 B)

経済学部 (学校推薦型選抜 B 名古屋市高大接続型)

芸術工学部 (学校推薦型選抜 B)

看護学部 (学校推薦型選抜 B)

総合生命理学部 (学校推薦型選抜 名古屋市高大接続型)

名古屋市立大学

インターネット出願

目 次

教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
1 募集人員	9
2 推薦人員	10
3 出願資格	11
4 障害等を有する入学志願者との事前相談	16
5 出願手続	17
6 入学者選抜方法等	21
7 合格発表	26
8 入学手続	26
9 入学初年度納付金額	26
10 入学後に必要となる主な経費について	27
11 合格者が入学を辞退した場合の取扱い	27
12 薬学部学校推薦型選抜B入学手続者へのレポート課題について	28
13 その他の留意事項	28
14 個人情報の取扱い	28
15 簡易成績開示	29
16 医学部・薬学部・総合生命理学部試験場及び学生課入試係案内	30
17 教養教育・医学部・薬学部・経済学部・芸術工学部・看護学部・総合生命理学部の概要	32

緊急時における大学からのお知らせについて

新型コロナウイルス感染症の状況により、本募集要項の内容を変更する必要が生じた場合や、災害の発生時などの緊急時の連絡は、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。

○本学ウェブサイト
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/>



名古屋市立大学

《教育に関する目標》

教育は、学部・大学院を問わず、大学が社会や学生・大学院生に対して果たす最優先の責務であり、その強化に取り組む。そして、あらゆる機会を通じて幅広い視野と教養、「共生」の精神、豊かな創造性を身につけた人材を育成する。また、高度な知識と技術を身につけ、目的意識と主体性を持って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人材を育成する。

《アドミッション・ポリシー》

名古屋市立大学では、各学部がその理念と目的に応じて、入学者選抜試験における教科・科目を設定しており、明確な目的意識と勉学への強い意欲を持ち、大学の教育に関する目的を理解し、次のような資質を有する多様な学生を求めます。

- 十分な基礎学力とそれに裏打ちされた知識・技能
- 自ら課題を発見・解決し、それを伝える思考力・判断力・表現力
- 主体性を持ち、幅広い視野で多様な人々と協働して学ぶ態度
- 豊かな人間性と、地域や社会で活躍できる適性

医学部

《理念と目的》

- 人間味にあふれ、深い医学知識と技術を備えた医師を養成する。
- 人類の未来に貢献する医学研究を行い、その成果を社会に還元する。
- 名古屋都市圏の中核医療機関として、地域住民の健康と福祉を増進する。

《アドミッション・ポリシー》

【地域枠学校推薦型選抜】

《求める学生像》

医学・医療への使命感と倫理観、社会や文化に関する幅広い知識と向学心をもち、人間性豊かな温かさとリーダーシップを発揮し、地域社会に貢献する意欲をもった学生を求めます。

- 医学・医療への強い使命感と高い倫理観をもった人
- 自然科学とともに社会や文化に関する幅広い基礎学力と向学心を備えている人
- 温かで協調性をもち、「学び続ける医療人」としてリーダーシップを発揮できる人
- 愛知県の地域医療に貢献する強い意志をもち、着実な活躍ができる人

【学校推薦型選抜（中部圏活躍型）】

《求める学生像》

医学・医療への使命感と倫理観、創造性豊かな探究心と幅広い知識・向学心をもち、リーダーシップを発揮し指導的な立場で活躍し、国際的な舞台で医学・医療の発展に貢献できる学生を求めます。

- 医学・医療への強い使命感と高い倫理観をもった人
- 創造性豊かな探究心と幅広い知識への向学心を備えている人
- 協調性をもって優れたリーダーシップを発揮し、指導的立場で本学の発展に貢献できる人
- 国際的な舞台で医学・医療の発展に貢献できる人

【学校推薦型選抜（名古屋市高大接続型）】

《求める学生像》

医学・医療への使命感と倫理観、幅広い知識・向学心をもち、リーダーシップを発揮し指導的な立場で活躍し、名古屋都市圏における患者中心の医療ができる国際的視野をもった意欲のある学生を求めます。

- 医学・医療への強い使命感と高い倫理観をもった人
- 創造性豊かな探究心と幅広い知識への向学心を備えている人
- 協調性をもって優れたリーダーシップを発揮し、名古屋都市圏の医療の発展に貢献できる人
- 国際的な視野をもち、医学・医療の発展に気概ある人

【地域枠学校推薦型選抜、学校推薦型選抜（中部圏活躍型・名古屋市高大接続型）共通】

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- 基礎医学を学習する上での基盤となる理科、数学、語学の基礎学力
- 文章の読解、考えの口頭および文章での表現、円滑なコミュニケーションのための十分な国語力と英語力
- 人間理解の基盤となる社会、経済、文化、芸術、思想など多様な領域に対する向学心と素養
- 自ら学習課題を見出し解決できる意欲と行動力

薬学部

《理念と目的》

薬学は、様々な基礎科学を薬に関して総合し、医療への応用を目指す学問です。医療に不可欠な学問である薬学を志す人は、薬を通じて人類の健康と福祉の発展に貢献することが求められています。これを踏まえ、薬学部では生命薬科学科と薬学科を設置し、薬の創製・生産・臨床応用・適正管理・適正使用のための基礎知識と創造力・研究能力を有し、世界に羽ばたける多彩な薬のスペシャリストを社会に送り出すことを目指しています。

《アドミッション・ポリシー》

《求める学生像》

- 薬学への強い意欲と探究心を持った人

科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。

●医療・薬学への使命感と倫理観を持った人

薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。

●科学を中心とする幅広い学力を有する人

薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文科系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。

●国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人

医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。

●生命科学としての薬学への向学心を有する人（生命薬科学科）

将来、基礎薬学研究や医薬品開発等を通じて、科学者として人類の健康と福祉の発展に貢献しようという情熱を有する人を求めます。

●医療人としての自覚を持てる人（薬学科）

将来、薬剤師として患者さんを思いやり、医療に携わる様々な職種の人々と協調して、患者さんのための医療に貢献しようという意欲のある人を求めます。

●大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

薬学部では、両学科とも広範で多様な学問分野を総合的に学習する。また、どのような分野で活躍するにしても、語学力（国語，英語）が必要とされる。したがって、薬学部での学修をより多いものとするために、入学までに、化学、物理学、生物学、数学、語学の基礎学力をつけておくことが必要である。さらに、部活やボランティアなど、様々な活動に積極的に取り組むことで、表現力やコミュニケーション能力のほか、幅広い視野と高い倫理観、そして豊かな人間性を育むことが望ましい。

経済学部

《理念と目的》

経済学部の基本的な目的は、広い教養を持ち、経済学と経営学の諸理論に精通し、各自が直面するであろう経済、経営上の諸問題に柔軟かつ的確に対応できるような人材を社会に送り出すことです。

《アドミッション・ポリシー》

《求める学生像》

本学部の教育理念と目的にしたがって、次のような意欲と能力に満ちた学生が入学することを期待し歓迎します。

●経済・経営分野に強い関心を持っている人

- 前向きな学習意欲を持っている人
- 自分で明確な目標を持っている人
- 国際的分野について十分な理解力を持っている人
- 豊かな教養の形成を目指す人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- 国内外の状況を知ったり、専門の文献を読んだりするための語学力
- 論理的な分析をするための基礎となる数学の知識
- 人間の行動を理解するための幅広い知識

芸術工学部

《理念と目的》

- デザイン、芸術と工学分野の幅広い知識と理論を学ぶことにより、環境の持続可能性、健康福祉など、社会的要請の強いテーマに対する問題解決能力を養います。
- デザインと工学分野の専門的知識、理論、技法を学ぶことにより、形態と機能のバランスを保ったデザイン力を養います。
- デザインの実践教育の場として、少人数学習によるデザイン実習を重視しています。
- 外国人教師による講義やワークショップ等での実習指導により、国際的に活躍できる人材を養成します。

《アドミッション・ポリシー》

【情報環境デザイン学科 学校推薦型選抜B】

《求める学生像》

情報環境デザインへの知的関心と探究心を持ち、メディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わる、デザイナー、クリエイター、技術者等として、国内外の情報デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 理学と情報通信、および、芸術に強い関心を持つ人
- 情報通信、メディア工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、メディアや情報により提案できる人
- 学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫のできる人
- 理学、情報通信、芸術の融合による、情報、映像、音響などのメディア表現、ソフトウェアやコンテンツ制作に関わるデザイナー、クリエイター、技術者等を目指す人
- 幅広い基礎学力と知識、数学、英語の優れた学力に加え、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、情報デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- 情報通信、メディア工学などの分野の先端技術に関する理論や技法を理解するための基盤となる数学の基礎学力

- ユーザーインターフェイス、映像、音響分野のデザインや造形およびメディア表現の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- 外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- 文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

【産業イノベーションデザイン学科 学校推薦型選抜B】

《求める学生像》

産業イノベーションデザインへの知的関心と探究心を持ち、プロダクト、グラフィック、3DCG等の分野における新しいあり方を創造するデザイナー、技術者として、国内外の産業デザイン分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 現代社会の諸問題を、芸術的手法および工学的手法で解決することに興味を持つ人
- 機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学びたい人
- デザイン実習や課外の社会連携プロジェクトなどにおいて、自ら問題を発見し、プロダクト、グラフィックス、工学的知識により提案できる人
- 学習したことの応用だけでなく、身の回りの事象を観察し、自ら考えて創意工夫できる人
- 芸術と工学の融合による、プロダクト、グラフィック、3DCG分野における、新しいあり方を創造するデザイナー、技術者等を目指す人
- 幅広い基礎学力と知識、数学、英語の優れた学力に加え、豊かな表現力、構想力と理学、工学の知識、技法を修得し、産業デザイン分野に貢献できる実践力を備えた人材を目指す人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- 機械・電子工学、ロボット工学などの分野の先端技術を積極的に学び、これらの理論や技法を理解するための基盤となる数学の基礎学力
- プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、3DCG分野のデザインや造形の実習で、自由な表現を可能とするための基礎的描写力
- 外国人教師による講義や実習指導に対応でき、専門領域において国際的な視野に立った情報収集を行うための英語力
- 文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力

【建築都市デザイン学科 学校推薦型選抜B】

《求める学生像》

建築・都市分野への知的関心と探究心に加え、倫理観と幅広い基礎知識をもち、設計者や技術者等として、国内外の建築・都市分野の発展に貢献する意欲のある学生を求めます。

- 建築・都市分野への強い関心とデザインへの興味を持つ人
- 継続的な努力ができる人
- 自分を律し、責任感と倫理観を備える人
- 人間性豊かな感性と探究心を持つ人
- 大学院への進学意欲を持ち、建築・都市分野の発展に寄与する意欲のある人
- 多様な社会や異文化に興味を持つ人
- 主体性をもって多様な人々と協働して学べる人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- 建築学・都市学を修得する上での基盤となる、数学・理科の基礎学力
- 文章の読解、考えの口述及び文章表現、円滑なコミュニケーションのための国語力と英語力
- 基礎的描写力
- 建築学・都市学及び人間理解の基盤となる社会・文化・芸術・思想など多様な領域の基礎的素養

看護学部

《理念と目的》

《教育理念》

人間の尊厳を理解し、看護を通じて保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成する。

《教育目標》

- 幅広い教養を育み豊かな人間性を養う。
- 科学的根拠に基づいて判断できる力と社会の変化に対応できる実践力を養う。
- 保健医療サービスを受ける人々や提供する側の諸職者との協力的関係を調整する力を養う。
- 地域的問題から国際的問題まで幅広い視野を持って人々の健康を考える力を養う。

《アドミッション・ポリシー》

看護学は、人々の健康を生活の側面より支えることを学ぶ学問です。看護学部では、次のような人を求め、入学を歓迎します。

《求める学生像》

- 看護学に興味があり、将来、看護に関する仕事を通して社会に貢献したいと考える人
- 目標に向かって新しいことを意欲的に学ぶ姿勢をもっている人
- 人に対する温かい態度と物事を客観的に捉え判断することのできる冷静さを併せ持っている人
- 人とのかかわりをいとわず、様々な背景をもつ多様な文化を尊重し、他者への思いやりをもっている人
- 理系および文系科目を幅広く履修し、多様な側面を持つ看護学を修得するための十分な基礎学力を身につけている人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- 理系および文系科目の幅広い知識と、看護学を修得するための十分な基礎学力
看護学は、医学や薬学をはじめとする自然科学系の学問や、人との関係や家族や社会との関わり、様々な制度など、人文科学や社会科学に関する内容を専門基礎としての位置づけで学習します。そのため、入学には、高等学校卒業までに修得すべき基礎学力を偏りなく、幅広く身につけておくことが必要です。

●他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力

看護の対象は様々な年代や健康状態にあり、自分とは異なる多様な背景を持つ人です。他者と良好な関係を築くためには、相手の考えや気持ちを理解することに加え、自分の考えを言語化しそれを適切に伝えられることが必要です。

そのため、国語および英語などによる基本的なコミュニケーション能力を身につけておくことが求められます。

総合生命理学部

《理念・目的》

《人材養成に関する目的》

- 生命科学を中心に、自然科学全般と数理情報科学の基礎を身に付けた上で専門分野を学修することで、柔軟な思考ができる人材を養成する。
- 理学の総合的な学修を通じて、情報収集力、論理的思考力、企画力、実行力を備え、イノベーションの創出に貢献する人材を養成する。
- グローバルな視野を持ち、地域社会の発展に貢献する人材を養成する。

《アドミッション・ポリシー》

《求める学生像》

- 生命科学、物質科学、数理情報科学のいずれか、又は複数に関心があり、好奇心を持って自ら学ぼうとする意志のある人
- 理学を学ぶための基礎学力と語学力（国語力・英語力）を修得している人
- 現象を観察し、そこに様々な疑問を持ち、その解決に強い興味を持つ人
- 論理的な思考能力で適切に判断し、結論を導ける人
- 主体的に行動し、協調性や高い倫理観を持って諸問題に対処できる人
- 自らの考えを適切に他人に伝え、互いの考えを深められるコミュニケーション力を持つ人

《修得しておくべき知識等の内容・水準》

- 高等学校等で学ぶ理系科目及び文系科目の高い学力を有すること
- 理系科目の学習に必要な数学的素養を身につけていること
- 高等学校等で学ぶ語学（国語及び英語）に関する知識及び能力を有すること
- 論理的な思考能力を有すること

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、使用するとは限りません。

1 募集人員

学 部	学 科	募集人員	備 考
医 学 部 (地域枠学校推薦型選抜)	医 学 科	7 名	合格者が募集人員に満たなかった場合は一般選抜（前期日程）で補充します。ただし、名古屋市高大接続型の合格者が募集人員に満たなかった場合は、中部圏活躍型で補充します。また、名古屋市高大接続型で不合格となった場合でも、中部圏活躍型の合格基準を満たしている場合は、中部圏活躍型で合格となります。
医 学 部 (学校推薦型選抜 中部圏活躍型)		27名	
医 学 部 (学校推薦型選抜 名古屋市高大接続型)		3 名	
薬 学 部 (学校推薦型選抜B)	薬 学 科 (6 年制)	13名	合格者が募集人員に満たなかった場合は一般選抜（中期日程）で補充します。ただし、名古屋市高大接続型の合格者が募集人員に満たなかった場合は、通常为学校推薦型選抜Bで補充します。また、名古屋市高大接続型で不合格となった場合でも、通常为学校推薦型選抜Bの合格基準を満たしている場合は、通常为学校推薦型選抜Bで合格となります。 薬学科(6年制)では、卒業により薬剤師国家試験受験資格が与えられます。
	生命薬科学科 (4 年制)	6 名	
薬 学 部 (学校推薦型選抜B 名古屋市高大接続型)	薬 学 科 (6 年制)	2 名	
	生命薬科学科 (4 年制)	2 名	
経 済 学 部 (学校推薦型選抜B)	—	30名	経済学部には、公共政策学科・マネジメントシステム学科・会計ファイナンス学科の3学科があり、各学科への振り分けは2年進級時に行います。名古屋市高大接続型の合格者が募集人員に満たなかった場合は、通常为学校推薦型選抜Bで補充します。また、名古屋市高大接続型で不合格となった場合でも、通常为学校推薦型選抜Bの合格基準を満たしている場合は、通常为学校推薦型選抜Bで合格となります。
経 済 学 部 (学校推薦型選抜B 名古屋市高大接続型)		5 名	
芸術工学部	情報環境 デザイン学科	4 名	
	産業イノベーション デザイン学科	4 名	
	建築都市 デザイン学科	4 名	
看護学部	看護学科	35名	保健師養成は20名程度（各学年）の選択制です。
総合生命理学部 (学校推薦型選抜 名古屋市高大接続型)	総合生命理学科	2 名	合格者が募集人員に満たなかった場合は一般選抜で補充します。

2 推薦人員

学 部	学科	高等学校(※1)の推薦限度人員
医 学 部 (地域枠学校推薦型選抜)	医 学 科	3名※2
医 学 部 (学校推薦型選抜 中部圏活躍型)		3名※2
医 学 部 (学校推薦型選抜 名古屋市高大接続型)		2名
薬 学 部 (学校推薦型選抜B)	薬 学 科 (6年制)	制限はありません
	生命薬科学科 (4年制)	
薬 学 部 (学校推薦型選抜B 名古屋市高大接続型)	薬 学 科 (6年制)	
	生命薬科学科 (4年制)	
経 済 学 部 (学校推薦型選抜B)	—	
経 済 学 部 (学校推薦型選抜B 名古屋市高大接続型)		
芸術工学部	情 報 環 境 デザイ学科	
	産 業 イ ン フォ デザイ学科	
	建 築 都 市 デザイ学科	
看 護 学 部	看 護 学 科	
総合生命理学部 (学校推薦型選抜 名古屋市高大接続型)	総合生命理学科	2名

※1 中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。

※2 男子部及び女子部などの実質的別組織である高等学校においては、各組織から3名を限度とする。

3 出願資格

《医学部 地域枠学校推薦型選抜》

愛知県内の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を令和2年3月以降に卒業又は令和4年3月に卒業見込みの者、又は、愛知県外の高等学校(中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。)を令和2年3月以降に卒業若しくは令和4年3月に卒業見込み、かつ、出願時に愛知県内に保護者(※1)が引き続き3年以上居住している者で、次の各号のすべての要件を備え、学校長が責任をもって推薦するもの ※2

- (1) 医学・医療への使命感と倫理観、社会や文化に関する幅広い知識と向学心をもち、人間性豊かな温かさとリーダーシップを発揮し、地域社会に貢献する意欲をもった学生
- (2) 令和4年度大学入学共通テストにおいて、以下の5教科7科目を受験する者

教科	科目
国語	国語
数学	数Ⅰ・数A
	数Ⅱ・数B、簿、情報から1科目選択 ※3
理科	物理、化学の2科目
地理歴史	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫政経から1科目選択 ※4※5
公民	
外国語	英語 ※6

- (3) 合格した場合、必ず入学することを確約する者
- (4) **愛知県が設定する修学資金を受給し、本学卒業後、一定期間愛知県の地域医療に従事することを確約する者** ※7 ※8

※1 保護者とは、親権を行う者又は未成年後見人若しくはこれに準ずる者として名古屋市立大学長が認める者をいう。

※2 推薦は1つの高等学校(中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。)につき、3名を限度とする。ただし、男子部及び女子部などの実質的別組織である高等学校においては、各組織から3名を限度とする。

※3 『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(見込の者を含む)に限る。

※4 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

※5 倫政経とは『倫理、政治・経済』を表す。

※6 英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。

※7 この学校推薦型選抜は、平成19年8月文部科学省等の関係省庁連絡会議でとりまとめられた緊急医師確保対策に基づくものであり、入学者全員に対し愛知県が設定する修学資金貸付制度が用意されている。

また、本学校推薦型選抜による入学者は、本修学資金を受給し愛知県の地域医療に積極的に貢献することが期待される。

なお、本学卒業後、本学が推薦する卒後臨床研修プログラムによる2年間の卒後研修を含め、愛知県が指定する公的な医療機関における9年間以上の研修又は勤務をする義務を果たすことにより、本修学資金の返還が免除される。

大学1年生

大学6年生

修学資金貸与期間 6年間	県内で 臨床研修 【2年間】	県内で 専門医(後期)研修 (3年間) 【2年間算入】	指定医療機関に勤務 【5年間】
-----------------	----------------------	--------------------------------------	--------------------

(注)指定医療機関：愛知県内の医師の確保が困難な地域に所在する公的医療機関のうち知事が指定する医療機関。

※8 卒業後に愛知県が地域枠医師に赴任を望む診療科（推奨する診療科）は以下のとおりである。

- ・内科系（内科、総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科）
- ・外科系（外科、消化器外科、整形外科）
- ・救急科
- ・麻酔科
- ・小児科
- ・産婦人科
- ・総合診療科

《医学部 学校推薦型選抜（中部圏活躍型・名古屋市高大接続型）》

中部圏活躍型

中部圏内(※1)の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を令和3年3月に卒業又は令和4年3月に卒業見込みの者で、次の(1-1)及び(2)から(4)の要件を備え、学校長が責任をもって推薦するもの ※2

また中部圏外の高等学校を令和3年3月に卒業又は令和4年3月に卒業見込みの者であっても、本学卒業後6年間は中部圏内に居住する意思があることを確認書により本学が認めた者で、次の(1-1)及び(2)から(4)のすべての要件を備え、学校長が責任をもって推薦するもの ※2

名古屋市高大接続型

名古屋市立高等学校を令和3年3月に卒業又は令和4年3月に卒業見込みの者で、次の(1-2)及び(2)から(4)のすべての要件を備え、学校長が責任をもって推薦するもの ※3

(1-1) 医学・医療への使命感と倫理観、創造性豊かな探究心と幅広い知識・向学心を持ち、リーダーシップを発揮し指導的な立場で活躍し、国際的な舞台で医学・医療の発展に貢献できる学生

(1-2) 医学・医療への使命感と倫理観、幅広い知識・向学心を持ち、リーダーシップを発揮し指導的な立場で活躍し、名古屋都市圏における患者中心の医療ができる国際的視野をもった意欲のある学生

(2) 令和4年度大学入学共通テストにおいて、以下の5教科7科目を受験する者

教科	科目
国語	国語
数学	数Ⅰ・数A
	数Ⅱ・数B、簿、情報から1科目選択 ※4
理科	物理、化学の2科目
地理歴史	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫政経から1科目選択 ※5※6
公民	
外国語	英語 ※7

(3) 合格した場合、必ず入学することを確約する者 ※8※9

(4) 2年間の初期臨床研修を行った後、卒業6年後までに必ず名古屋市立大学又は名古屋市立大学病院に所属し、医学研究および臨床の場で中心となって本学をリードしていくことを確約できる者

- ※1 中部圏とは「愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県、福井県、石川県、富山県、滋賀県」をいう。
- ※2 中部圏活躍型は1つの高等学校につき、3名を限度とする。ただし、男子部及び女子部などの実質的別組織である高等学校においては、各組織から3名を限度とする。
- ※3 名古屋市高大接続型は1つの高等学校につき、2名を限度とする。
- ※4 『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（見込みの者を含む）に限る。
- ※5 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
- ※6 倫政経とは『倫理、政治・経済』を表す。
- ※7 英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。
- ※8 入学後は本学のMD-PhD前期コースを履修しなければならない。
- ※9 MD-PhDコースは、医学研究を志向する医学部学生に対し、早期に研究の機会を与えることによって、医学・医療の急速な進歩と社会情勢の変化に対応できる若手医学研究者を養成することを目的としている。
本コースは、医学部期間の前期コースと、大学院期間の後期コースで構成されている。ただし、本選抜で入学する者は、前期コースを1年次より履修し、早期より研究に従事するが、前期コース修了は卒業要件としない。

《薬学部 学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型含む）》

高等学校（中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。）を令和2年3月以降に卒業又は令和4年3月に卒業見込みの者で、本学薬学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

※名古屋市高大接続型は、名古屋市立高等学校を令和2年3月以降に卒業又は令和4年3月に卒業見込みの者で、本学薬学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

(1) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上であり、将来、生命科学と医療科学を基礎として医療を支える重要な学問分野である薬学の研究・発展及び薬剤師職能の発展に対して貢献が期待できる能力及び適性等を有する人物として、学校長が責任をもって推薦する者

(2) 令和4年度大学入学共通テストにおいて、以下の5教科7科目を受験する者

教 科	科 目
国語	国語
数学	数Ⅰ・数A
	数Ⅱ・数B、簿、情報から1科目選択 ※1
理科	物理、化学、生物、地学から2科目選択
地理歴史	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫政経から1科目選択 ※2※3
公民	
外国語	英、独、仏、中、韓から1科目選択 ※4

(3) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

- ※1 『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（見込みの者を含む）に限る。
- ※2 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

※3 倫政経とは『倫理，政治・経済』を表す。

※4 英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする。

《経済学部 学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型含む）》

高等学校（中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）を令和3年3月に卒業又は令和4年3月卒業見込みの者で、本学経済学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

※名古屋市高大接続型は、名古屋市立高等学校を令和3年3月に卒業又は令和4年3月に卒業見込みの者で、本学経済学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの。

(1) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者

(2) 令和4年度大学入学共通テストの数学（『数学Ⅰ・数学A』及び『数学Ⅱ・数学B』※1）と外国語（英、独、仏、中、韓から1科目選択 ※2）の2教科3科目を受験する者

※1 名古屋市高大接続型の志願者は「数学」において『数学Ⅱ・数学B』に代えて『簿記・会計』又は『情報関係基礎』の選択も可能とする。

※2 英語はリスニングの成績を含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする。

(3) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

《芸術工学部》

高等学校（中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）を令和3年3月に卒業又は令和4年3月卒業見込みの者で、本学芸術工学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

(1) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者

(2) 令和4年度大学入学共通テストの国語、数学（『数学Ⅰ・数学A』及び『数学Ⅱ・数学B』）、英語※の3教科4科目を受験する者

※英語はリスニングの成績を含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする。

(3) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

《看護学部》

高等学校（中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）を平成 29 年 3 月以降に卒業又は令和 4 年 3 月に卒業見込みの者で、本学看護学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

(1) 以下の看護学部アドミッション・ポリシーに合致する人物として、学校長が責任をもって推薦する者

- ア 看護学に興味があり、将来、看護に関する仕事を通して社会に貢献したいと考える人
- イ 目標に向かって新しいことを意欲的に学ぶ姿勢をもっている人
- ウ 人に対する温かい態度と物事を客観的に捉え判断することのできる冷静さを併せ持っている人
- エ 人とのかかわりをいとわず、様々な背景をもつ多様な文化を尊重し、他者への思いやりをもっている人
- オ 理系および文系科目を幅広く履修し、多様な側面を持つ看護学を修得するための十分な基礎学力を身につけている人

(2) 令和 4 年度大学入学共通テストで以下の 5 教科 7～8 科目又は 6 教科 7～8 科目を受験する者

教科	科目	
国語	国語	
数学	数Ⅰ・数Ⅱ	
	数Ⅲ・数Ⅳ	
地理歴史	① 世Ⅰ、世Ⅱ、日Ⅰ、日Ⅱ、地理Ⅰ、地理Ⅱ、現社、倫理、政経、倫理政経から選択 ※1※2	以下のア～エのうち 1 つ選択 ※4※5 ア「 ① の第 1 解答科目、 ② 、 ③ の第 1 解答科目」※3 イ「 ① の第 1 解答科目、 ③ から 2 科目」 ウ「 ① から 2 科目、 ② 」 エ「 ① から 2 科目、 ③ の第 1 解答科目」
公民		
理科	② 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から 2 科目選択	
	③ 物理、化学、生物、地学から選択	
外国語	英語 ※6	

(3) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

- ※1 倫政経とは『倫理、政治・経済』を表す。
- ※2 **①**において、同一名称を含む科目の組合せで選択することはできない。
- ※3 アにおいて、**②**と**③**で同一名称を含む科目の組合せを本学では認めない。よって、**②**と**③**において同一名称を含む科目の組合せで解答した場合は、アを選択することができないため、ウ若しくはエのうち合計得点の高い方を合否判定に用いる。科目選択には十分注意すること。
- ※4 ア～エにおいて 2 つ以上の選択ができる場合は、ア～エにおいて最も合計得点の高いものを合否判定に用いる。ただし、※3 には十分注意すること。
- ※5 **①**と**③**において 1 科目のみ受験した場合の当該科目についても、ここでいう第 1 解答科目に含める。
- ※6 英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする。

《総合生命理学部》

本学総合生命理学部への入学を強く希望し、以下の各号のすべてに該当する者

- (1) 名古屋市立高等学校を令和4年3月に卒業見込みの者
- (2) 調査書の数学、理科、英語の評定を平均した値が3.6以上である者
- (3) 将来、基礎自然科学または数理情報科学分野の研究・発展に対して貢献が期待できる能力及び適性等を有する人物として、当該高等学校長が責任をもって推薦する者
- (4) 令和4年度大学入学共通テストにおいて、以下の5教科7科目を受験する者

教科	科目
国語	国語
数学	数Ⅰ・数Ⅱ
	数Ⅲ・数Ⅳ、簿、情報から1科目選択 ※1
理科	物理、化学、生物、地学から2科目選択
地理歴史	世Ⅰ、世Ⅱ、日Ⅰ、日Ⅱ、地理Ⅰ、地理Ⅱ、 現社、倫、政経、倫政経から1科目選択 ※2 ※3
公民	
外国語	英語 ※4

- (5) 数学Ⅲを履修した者（見込みの者を含む） ※5
- (6) 合格した場合、必ず入学することを確約する者

※1 『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者（見込みの者を含む）に限る。

※2 2科目を受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

※3 倫政経とは、『倫理、政治・経済』を指す。

※4 英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。

※5 理数科にあっては、理数数学Ⅱ及び理数数学特論を履修した者（見込みの者を含む）に限る。

4 障害等を有する入学志願者との事前相談

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和3年12月7日(火)までに必ず本学へ申し出てください。

(1) 相談の方法

受験事前相談・配慮措置申請書（診断書等の必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる高等学校関係者等との面談等を行います。

(2) 連絡先 本学 学生課入試係（TEL 052-853-8020）

5 出願手続

インターネット出願システムで出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行った後に、出願期間内に出願書類を郵送により提出してください。（出願期間内に本学へ書類が到着しない場合は、受験できませんのでご注意ください。）

本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>インターネット出願について
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/internet/>

【インターネット出願システムを利用した出願の流れ】

①出願情報の登録	インターネット出願システムへの登録期間にパソコンやスマートフォンから、本学のインターネット出願システムにアクセスし、画面の指示に従って出願情報を登録してください。
②出願情報の確認	入学検定料の支払い前に 登録した内容に誤りがないか必ず確認してください。入学志願票（確認用）を印刷して確認することもできます。
③入学検定料の支払い	検定料の支払い方法を選択し、入学検定料17,000円+支払手数料を支払ってください。支払い方法は以下のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・ネットバンキング ・ペイジー対応銀行ATM
④入学志願票等の印刷	入学志願票（提出用）、電算入力票及び宛名ラベルを印刷してください。
⑤出願書類の提出	「(4) 出願に必要な書類等」に記載されている書類を本学学生課入試係へ書留速達郵便で送付してください。

※出願情報の登録だけでは出願手続きは完了しません。下記出願期間内に「(4) 出願に必要な書類等」に記載されている書類を郵送で提出することで完了します。

(1) 出願期間

【医学部】 令和4年1月4日(火) から令和4年1月21日(金) 16:00 (必着)

【上記以外】 令和4年1月17日(月)から令和4年1月21日(金) 16:00 (必着)

※消印有効ではありませんので、郵便事情を考慮して早めに送付してください。なお、出願期間最終日（1月21日（金））のみ、郵送による出願ができない事由がある場合に限り、持参による出願書類の提出を認めます。この場合、必ず、同日の9:00から15:00の間に学生課入試係（052-853-8020）に予め連絡した上で、16:00までに本要項に記載してある出願書類の郵送先へ持参により提出してください。

※インターネット出願システムへの登録期間は、下記のとおりです。

【医学部】 令和4年1月4日(火) 9:00 から令和4年1月21日(金)16:00 まで

【上記以外】 令和4年1月11日(火)9:00 から令和4年1月21日(金)16:00 まで

(2) 出願書類の郵送先

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地 桜山キャンパス
 名古屋市立大学 学生課入試係

(3) 出願書類の提出方法

ア 書留速達郵便で送付してください。

イ 出願期間を過ぎた郵便は受理しません。

(4) 出願に必要な書類等

本学所定の様式（志願理由書、推薦書、推薦入学確約書、確認書、同意書）については、本学ウェブサイトに掲載しています。

本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>学生募集要項(一般・推薦・留学生・帰国生徒等)

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/guide/>

から様式をダウンロードの上、作成してください。

	書 類 等	説 明
インターネット出願システムから印刷する書類	① 入学志願票 (提出用)	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから白色のA4用紙に印刷してください。(カラー、モノクロのどちらでも可) 顔写真データは上半身、無帽、正面向き、背景なし、カラー、出願前3か月以内に撮影したものをアップロードしてください。 入力上の留意事項については19ページを参照
	② 電算入力票	
	③ 宛名ラベル (出願封筒用)	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから、白色のA4用紙に印刷したものを市販の角型2号封筒(各自でご用意ください。)に貼り付け、出願に必要な書類を封入してください。 1つの封筒には1名分のみとし、2名分以上封入してはいけません。
	④ 大学入学 共通テスト 成績請求票	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度大学入学共通テスト成績請求票の「国公立推薦型選抜用」を、「①入学志願票(提出用)」の所定の欄に貼ってください。
本学ウェブサイトに掲載する出願書類所定用紙	⑤ 志願理由書 (医学部、薬学部、看護学部、総合生命理学部のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の用紙により本人が作成したもの
	⑥ 推 薦 書	<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の様式により学校長が記載し、密封したもの A4用紙両面印刷し、書式を変更せず、指定された枠のサイズ内に記してください。
	⑦ 推 薦 入 学 確 約 書	<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の用紙に志願者及び学校長が記載、押印したもの
	⑧ 確 認 書 (医学部学校推薦 型選抜(中部圏活躍 型)で、中部圏外の 高等学校を卒業又は 卒業見込みの場合のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 中部圏*内の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業若しくは卒業見込みの場合は、提出不要です。 中部圏外の高等学校を卒業又は卒業見込みの場合は、本学卒業後6年間は中部圏内に居住する意思を確認する本学所定の確認書を提出してください。 <p>※中部圏とは「愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県、福井県、石川県、富山県、滋賀県」をいいます。</p>

	<p>⑨ 同意書（医学部地域枠学校推薦型選抜のみ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の用紙に志願者及び保護者もしくは法定代理人が記載したもの 「愛知県地域医療確保修学資金貸与条例」掲載場所：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/imu/0000083900.html ・ 地域枠学校推薦型選抜入学者は、卒業後に「愛知県地域枠医師キャリア形成プログラム」が適用されます。 「愛知県地域枠医師キャリア形成プログラム」掲載場所：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/imu/kyariakeisei.html
<p>その他必要な書類</p>	<p>⑩ 調査書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校長が証明し、密封したもの ・ 廃校・被災等その他の事情により調査書が得られない場合には、令和3年12月7日（火）までに本学 学生課入試係に問い合わせてください。 ・ 本学では、学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊸と標示することを希望します。この場合、「備考」の欄にその理由を必ず明示してください。（理由を明示しない場合は、㊸の扱いをしません。）
	<p>⑪ 住民票（医学部地域枠推薦入試で、愛知県外の高等学校を卒業又は卒業見込みの場合のみ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県内の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業若しくは卒業見込みの場合は、提出不要です。 ・ 愛知県外の高等学校（中等教育学校の後期課程及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）を卒業又は卒業見込みの場合は、出願時点で愛知県内に保護者※1 が引き続き3年以上住民登録があることを証明できる住民票※2 ※3 を提出してください。 ・ 志願者本人との続柄が分かる住民票を提出してください。住民票で証明ができない場合は、住民票に加えて戸籍抄本（個人事項証明書）等を提出してください。 ・ 個人番号（マイナンバー）が省略された住民票を取得してください。取得した住民票に個人番号が記載されている場合は、油性ペンなどを使用して塗りつぶし、完全に見えない状態で提出してください。 <p>※1 保護者とは、親権を行う者又は未成年後見人若しくはこれに準ずる者として名古屋市立大学長が認める者をいいます。</p> <p>※2 保護者が県内で市町村間転居している場合は、出願時から遡って3年間のすべての住民票（除票を含む。）を提出してください。</p> <p>※3 出願前3か月以内に発行されたもの</p>

(5) 入学検定料の返還

ア 第1段階選抜の不合格者に対しては、13,000円を返還します。該当者には、第1段階選抜結果通知の際に本学所定の書類によりお知らせします。

イ 大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者等に対しては、13,000円を返還します。該当者には、出願無資格通知の際に本学所定の書類によりお知らせします。

ウ 上記ア、イの場合以外は原則として既納の入学検定料は返還しません。ただし、次の場合は、納入された入学検定料を返還します。詳細は本学ウェブサイト (<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/fee/refund/>) をご覧ください。

- ・ 二重で支払いをした場合

- ・入学検定料等の支払い後、出願書類を提出しなかった場合（出願が受理されなかった場合も含む）

(6) 受験票のダウンロード及び印刷

第1段階選抜の合格者及び第1段階選抜を実施しなかった学部の志願者は、令和4年2月9日（水）10:00から、インターネット出願システムより受験票のダウンロード及び印刷が可能となります。各自で印刷してください。

なお、医学部及び薬学部における学校推薦型選抜の第1段階選抜不合格者はダウンロード及び印刷ができませんので、ご留意ください（第1段階選抜不合格者は、受験票のダウンロード画面に「1次不合格」と表示されます）。

(7) 受験案内

医学部、薬学部及び総合生命理学部における学校推薦型選抜の受験案内は本学ウェブサイトに掲載いたします。試験場や集合場所、その他受験上の注意事項は受験案内で必ずご確認ください。

本学ウェブサイト>入試情報>入試実施状況>受験案内

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/application-status/guide/>

掲載期間：令和4年2月9日（水）10:00から

(8) インターネット出願システム入力上の留意事項

ア 経済学部受験の場合は、2年生進級時に学科を決定しますので「志望学科」の選択は不要です。

イ 「居住地」の欄は、名古屋市在住の方で、志願者又は配偶者若しくは1親等の親族が入学の日（4月1日）において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していることを住民票により証明できる方（名古屋市住民等）は「名古屋市内居住（1年以上）」を、名古屋市内に住所を有している期間が1年未満の方は「名古屋市内居住（1年未満）」を、名古屋市外に居住の方は「名古屋市内居住ではない」を選択してください。

ウ 「住所等」の欄は、令和4年4月上旬まで確実に連絡を受けることができる連絡先を入力してください。

エ 「メールアドレス」欄は、パソコン・携帯電話の両方を持っている場合は、どちらか一方のアドレス（確実に受信できるもの）を入力してください。

オ 「緊急連絡先」欄は、本人に連絡がとれないときに確実に連絡できる方（保護者等）を入力してください。

カ 「履歴事項」欄は、高校卒業以後から入力してください。（卒業見込み者は入力不要）

6 入学者選抜方法等

《医学部 地域枠学校推薦型選抜》

(1) 第1段階選抜

大学入学共通テストの成績(下表)が総配点1,000点の概ね77%(注)以上の者を対象とし、募集人員の約4倍の合格者を決定する。

(注) 大学入学共通テストの得点平均が、令和3年度大学入学共通テストの得点平均と同程度の場合である。第1段階選抜の基準については、令和4年1月20日頃に本学ウェブサイトで公表する。

【大学入学共通テストの教科及び配点表】

試験	教科等	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	計
大学入学共通テスト		200	250	200	100		250	1,000

※ 「数学」及び「理科」は250点満点、「外国語」は200点満点とする。

※ 「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。

※ 「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

第1段階選抜の合格者は、令和4年2月9日(水)10:00から、インターネット出願システムより受験票のダウンロード及び印刷が可能となります。(20ページ「(6) 受験票のダウンロード及び印刷」参照)

また、第1段階選抜の結果は学校長に通知するとともに、第1段階選抜の不合格者に第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を郵送します。

(2) 第2段階選抜

第1段階選抜合格者に対して、面接試験を実施する。

大学入学共通テストの成績、学校長の推薦書(本学所定)、調査書、志願理由書及び面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行う。

教科等	評価のポイント
面接	面接試験の形式は個人面接とします。面接室では複数の面接員と向かい合って着席します。1人の面接時間は20分の予定です。 医学を志す動機・意欲、医師への適性、社会性・協調性、コミュニケーション能力などを総合的に評価します。

ア 面接集合日時・場所

令和4年2月11日(祝・金)

詳細は、受験案内でお知らせします。(昨年実績 集合11:30)

名古屋市立大学 滝子キャンパス (30・31ページ図参照)

※桜山キャンパスではありませんので注意してください。

イ その他

本学校推薦型選抜は、国が進める緊急医師確保対策に基づき、愛知県内の地域医療を担う人材を育成する目的により特別枠で7名を募集するものです。愛知県が設定する修学資金貸付制度を受けることなどから、選抜に係る面接に愛知県職員が面接委員として参画します。

《医学部 学校推薦型選抜（中部圏活躍型・名古屋市高大接続型）》

(1) 第1段階選抜

大学入学共通テストの成績（下表）が総配点 625 点の概ね 80%（注）以上の者を対象とし、中部圏活躍型では募集人員の約 2 倍の合格者を決定し、名古屋市高大接続型では 4 名の合格者を決定する。

（注）大学入学共通テストの得点平均が、令和 3 年度大学入学共通テストの得点平均と同程度の場合である。第 1 段階選抜の基準については、令和 4 年 1 月 20 日頃に本学ウェブサイトで公表する。

【大学入学共通テストの教科及び配点表】

教科等 試験	国語	数学	外国語	地理 歴史	公民	理科	計
大学入学 共通テスト	125	150	125	75		150	625

- ※ 「数学」及び「理科」は 150 点満点、「国語」及び「外国語」は 125 点満点に換算する。
- ※ 「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする。
- ※ 「地理歴史、公民」は 75 点満点とする。「地理歴史、公民」を 2 科目受験した場合は、第 1 解答科目を合否判定に用いる。

第 1 段階選抜の合格者は、令和 4 年 2 月 9 日（水）10:00 から、インターネット出願システムより受験票のダウンロード及び印刷が可能となります。（20 ページ「(6) 受験票のダウンロード及び印刷」参照）

また、第 1 段階選抜の結果は学校長に通知するとともに、第 1 段階選抜の不合格者に第 1 段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を郵送します。

(2) 第2段階選抜

第 1 段階選抜合格者に対して、総合面接試験（各教科の知識を問う課題論述及び口述を含む。）を実施する。

大学入学共通テストの成績、学校長の推薦書（本学所定）、調査書、志願理由書及び面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行う。

教科等	評価のポイント
課題論述	提示された課題に対する理解力・思考力・発想力などを総合的に評価します。
口述	面接試験の形式は個人面接とします。面接室では複数の面接員と向かい合って着席します。1 人の面接時間は 25 分の予定です。 課題論述に対する理解力・思考力・発想力に加え、人間性、探究心、医学・医療の発展に貢献する意欲などを総合的に評価します。

ア 面接集合日時・場所

令和 4 年 2 月 11 日（祝・金）

詳細は、受験案内でお知らせします。（昨年実績 集合 11:30）

名古屋市立大学 滝子キャンパス（30・31 ページ図参照）

※桜山キャンパスではありませんので注意してください。

イ その他

名古屋市高大接続型で不合格となった場合でも、中部圏活躍型の合格基準を満たしている場合は、中部圏活躍型で合格となります。

《薬学部 学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型含む）》

(1) 第1段階選抜

出願書類及び大学入学共通テストの成績（下表）による審査の結果を総合して、募集人員の約2倍の合格者を決定する。

【大学入学共通テストの教科及び配点表】

試験 \ 教科等	国語	数学	外国語	地理 歴史	公民	理科	計
大学入学 共通テスト	100	200	200	100		200	800

※ 「国語」は100点満点、「外国語」は200点満点とし、「数学」及び「理科」は各科目100点満点に換算する。

※ 「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。

※ 「地理歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

第1段階選抜の合格者は、令和4年2月9日（水）10:00から、インターネット出願システムより受験票のダウンロード及び印刷が可能となります。（20ページ「(6) 受験票のダウンロード及び印刷」参照）

また、第1段階選抜の結果は学校長に通知するとともに、第1段階選抜の不合格者に第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を郵送します。

(2) 第2段階選抜

第1段階選抜合格者に対して、面接試験を実施する。

大学入学共通テストの成績800点、その他（学校長の推薦書（本学所定）、志願理由書、調査書及び面接試験）の成績80点による審査の結果を総合して入学者の選抜を行う。

教科等	評価のポイント
面接	面接試験の形式は個人面接とします。面接室では複数の面接員と向かい合って着席します。1人の面接時間は15分の予定です。 薬学を志す動機・意欲、科学に関する基礎的な思考力、社会性・協調性、コミュニケーション能力などを総合的に評価します。

ア 面接集合日時・場所

令和4年2月11日（祝・金）

詳細は、受験案内でお知らせします。

名古屋市立大学 滝子キャンパス（30・31ページ図参照）

※桜山キャンパスではありませんので注意してください。

イ その他

名古屋市高大接続型で不合格となった場合でも、通常の学校推薦型選抜Bの合格基準を満たしている場合は、通常の学校推薦型選抜Bで合格となります。なお、名古屋市立高校の出身者は、出願書類の提出後、自動的に高大接続型の志願者として取り扱われます。

《経済学部 学校推薦型選抜B（名古屋市高大接続型含む）》

選抜方法

出願書類及び大学入学共通テストの成績（下表）による審査の結果を総合して入学者の選抜を行います。

個別学力検査等は課しません。

また、名古屋市高大接続型で不合格となった場合でも、通常の学校推薦型選抜Bの合格基準を満たしている場合は、通常の学校推薦型選抜Bで合格となります。

【大学入学共通テストの教科及び配点表】

教科等 試験	数 学	外国語	計
大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	200	400

※ 「数学」は各科目 100 点満点とし、「外国語」は 200 点満点とする。

※ 名古屋市高大接続型の志願者は「数学」において『数学Ⅱ・数学B』に代えて『簿記・会計』、『情報関係基礎』の選択も可能とする。

※ 「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする。

《芸術工学部》

選抜方法

出願書類及び大学入学共通テストの成績（下表）による審査の結果を総合して入学者の選抜を行います。

個別学力検査等は課しません。

【大学入学共通テストの教科及び配点表】

教科等 試験	国 語	数 学	外国語	計
大 学 入 学 共 通 テ ス ト	200	200	200	600

※ 「数学」は各科目 100 点満点とし、「外国語」は 200 点満点とする。

※ 「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング 80%、リスニング 20%とする。

《看護学部》

選抜方法

出願書類及び大学入学共通テストの成績（下表）による審査の結果を総合して入学者の選抜を行います。

個別学力検査等は課しません。

【大学入学共通テストの教科及び配点表】

試験	教科等	国語	数学	外国語	地歴 歴史	公民	理科	計
	大学入学 共通テスト	①	200	200	200	100		200
②		200	200	200	200		100	900

- ※「数学」、「地歴歴史、公民」及び「理科」は各科目100点満点とし、「外国語」は200点満点とする。
- ※「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。
- ※①及び②については、15ページの(3)の※4に従い、最も合計得点の高い科目を採用した場合において該当するいずれかの配点表になる。

《総合生命理学部》

選抜方法

出願書類、大学入学共通テストの成績及び面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行う。

【大学入学共通テストの教科及び配点表】

試験	教科等	国語	数学	外国語	地歴 歴史	公民	理科	計
	大学入学 共通テスト		100	100	100	50		150

- ※「国語」は100点満点とする。
- ※「数学」は各科目50点満点とする。
- ※「外国語」は100点満点とする。なお、「外国語」の英語はリスニングを含む。配点比率はリーディング80%、リスニング20%とする。
- ※「地歴歴史、公民」は50点満点とする。なお、「地歴歴史、公民」を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
- ※「理科」は各科目75点満点とする。

教科等	評価のポイント
面接	科学に関する好奇心や探究心、論理的な思考能力、これまでの活動に立脚した主体性、協調性、コミュニケーション能力などを総合的に評価します。形式は個人面接とし、面接時間は15分の予定です。志願理由書の記載内容についても質問します。

面接集合日時・場所

令和4年2月11日(祝・金)

詳細は、受験案内でお知らせします。

名古屋市立大学 滝子キャンパス (30・31ページ図参照)

※桜山キャンパスではありませんので注意してください。

7 合格発表

- (1) 日 時 令和4年2月15日(火) 10:00
- (2) 方 法 合格者の受験番号を本学ウェブサイトに掲載するとともに、学校長に合否結果、合格者に入学許可書及び入学手続関係書類を送付します。
(電話等による合否に関する問合せには一切応じません。また、掲示板等での掲示はありません。)
不合格者には送付しませんので、必ず本学ウェブサイトで合否を確認をしてください。

本学ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

なお、合格しているにもかかわらず、通知が令和4年2月17日(木) 16:00までに未到達の場合に限り、同日 17:00 までに本学 学生課入試係 (TEL 052-853-8020) に問い合わせてください。

学校推薦型選抜の合格者は、他の国公立大学(ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く※。以下同じ)及び本学の各学部を受験しても合格対象者とはなりません。
※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ウェブサイト (<http://www.kodaikyo.org/nyushi/>) で確認ください。

8 入学手続

- (1) 日 時 令和4年2月21日(月) 13:00~16:00
- (2) 場 所 本学 滝子キャンパス学生会館2階ホール (30・31 ページ図参照)
- (3) 方 法 大学入学共通テストの受験票・本学の受験票及び入学時納付金納付証明書等(詳細は合格者に送付する「入学手続のお知らせ」でお知らせします。)を持参して手続してください。ただし、郵送による手続も可能です。

※ 学校推薦型選抜合格者が、令和4年2月21日(月)に入学手続を行わないときは、合格者としての権利を失いますので注意してください。(郵送による手続の場合は書留速達郵便で令和4年2月21日(月) 正午必着)

9 入学初年度納付金額

(1) 学 費

区 分	名古屋市住民等	その他の者
入 学 料	232,000円	332,000円
授 業 料	535,800円	535,800円
計	767,800円	867,800円

- 注1 入学料は入学手続時に納付してください。入学手続後の入学料の返還はできません。
- 注2 入学料、授業料は、令和3年4月入学者の金額です。令和4年度入学者については改めてお知らせします。
- 注3 授業料は、入学後、年2回(前期・後期)に分けて引落を実施します。
- 注4 名古屋市住民等とは、①入学者又は②配偶者若しくは1親等の親族が入学の日(4月1日)において同日の前から引き続き1年以上の期間名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。
- 注5 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

(2) 諸団体納付金

区 分	医学部	薬学部		経済学部	芸術工学部	看護学部	総合生命 理学部
		薬学科	生命薬科 学科				
後援会費	90,000円	90,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円
同窓会費	100,000円 (瑞友会)	20,000円 (薬友会)	20,000円 (薬友会)	30,000円 (瑞山会)	20,000円 (萱光会)	8,000円 (看桜会)	20,000円 (瑞滝会)
交流会費	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円
学友会費	11,000円	11,000円	8,000円	8,000円	8,000円	8,000円	8,000円
献体団体 (財)不老会(賛助会費)	50,000円	—	—	—	—	—	—
経済学会費	—	—	—	6,000円	—	—	—
学生教育研究 災害傷害保険料	4,800円	4,800円	3,300円	3,300円	3,300円	3,370円	3,300円
学生教育研究 賠償責任保険料	3,000円	2,040円	1,360円	—	1,360円	2,000円	1,360円
計	263,800円	132,840円	97,660円	112,300円	97,660円	86,370円	97,660円

注1 入学手続き時に入学料とあわせて納付してください。

注2 上記金額については変更する場合があります。確定額については入学手続き書類送付時にお知らせします。

注3 学生教育研究災害傷害保険は、入学時に全員加入となります。本学の教育研究活動中及び通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被る傷害に対して保険金が支払われます。なお、医学部、薬学部薬学科及び看護学部のみ、病院等で臨床実習を行う学生を対象とした接触感染予防保険金支払特約が含まれています。

注4 学生教育研究賠償責任保険は、特定の学部のみ入学時に全員加入となります。正課（医療関連実習等）、学校行事、課外活動及びその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。

10 入学後に必要となる主な経費について

入学以後、学部によって以下の経費が必要になります。

- ・全国統一の共用試験受験料
- ・感染予防ワクチン接種料
- ・リメディアル教育経費
- ・学外実習費等の経費

11 合格者が入学を辞退した場合の取扱い

特別の事情による場合は、推薦学校長と連署のうえ、その理由を記した「推薦入学辞退願」を令和4年2月21日（月）までに提出し、本学の許可を得てください。

許可を受けない場合は、国公立大学の個別学力検査（一般選抜）を受験しても、その合格対象者とはなりません。

12 薬学部学校推薦型選抜B入学手続者へのレポート課題について

入学後の専門教育に備え、レポート課題を課します。詳しい内容等については、入学手続後にお知らせします。

13 その他の留意事項

(1) 学校推薦型選抜の志願者は、国公立大学の一般選抜の併願について、前期日程から1、後期日程から1、公立大学中期日程から1の合計3までの大学・学部を選んで出願することができます。

(2) 大学入学共通テストで本学の指定した教科・科目のうち、一つでも受験しないものがある場合には、失格者として扱い、本学の学校推薦型選抜を受験することができません。

なお、大学入学共通テストの外国語のうち、英語を選択する場合は、「リーディング」と「リスニング」の双方を受験する必要があります。いずれか一方を受験しなかった場合も、失格者として扱い、本学の学校推薦型選抜を受験することができませんので、特にご注意ください。（ただし、リスニング免除者は除く。）

(3) 提出された出願書類は返却しません。

(4) 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。

(5) 大学入学共通テストの受験票及び本学の受験票は、入学手続や成績開示に必要ですから大切に保管しておいてください。

(6) 本年度中に他の国公立大学及び本学のあなたが出願する学部以外の学校推薦型選抜に出願する（した）者は、本学校推薦型選抜に出願することはできません。

ただし、本学校推薦型選抜Aの不合格者は、本学のあなたが出願した学部で実施する学校推薦型選抜B（大学入学共通テストを課す推薦）に出願することはできます。

(7) 医学部地域枠学校推薦型選抜と医学部学校推薦型選抜（中部圏活躍型・名古屋市高大接続型）とは併願できません。

(8) 学校推薦型選抜による入学者は入学後の転学科はできません。

(9) インターネット出願システム又は出願書類に虚偽の登録又は記載をした場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。

(10) 出願手続後に受信場所が変わったときは、速やかに郵便はがき等で本学 学生課入試係へ連絡してください。

(11) 本学では、出願書類受理証等は発行しません。書留速達郵便で出願する際は、郵便局の発行する書留郵便物受領証を必ず保管しておいてください。

14 個人情報の取扱い

個人情報については「名古屋市個人情報保護条例」に基づいて、次のとおり取扱います。

(1) 個人情報の利用

ア インターネット出願システムに登録又は出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、

入学手続等)を行うため使用します。

イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。(調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。)

ウ 入学者の個人情報については、教務関係(学籍管理、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

エ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。

(2) 業者への委託

(1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

15 簡易成績開示

合否を問わず、個人別成績を簡易な手続により開示請求することができます。ただし、受験者本人以外が請求を行うことはできません。

(1) 範囲

- ア 大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が課す教科・科目別得点の素点
- イ 総合得点順位
- ウ 面接の得点(医学部、薬学部、総合生命理学部のみ)

(2) 請求方法

本学 学生課入試係に本学の受験票(第1段階選抜不合格者は第1段階選抜判定通知書)を持参して請求してください。郵送の場合は、封筒の表面に「簡易開示請求」と朱書し、以下のものを同封のうえ、簡易書留郵便にて郵送してください。

- ・本学の受験票(第1段階選抜不合格者は第1段階選抜判定通知書)
- ・返信用封筒(長形3号。受験者本人の住所・氏名及び郵便番号を明記して414円分の切手を貼付したもの。)

※複数の試験について同時に請求する場合も、返信用封筒は1枚で結構です。

- ・「名古屋市立大学入学試験に係る簡易開示請求書」に必要事項を記入したもの。なお、「名古屋市立大学入学試験に係る簡易開示請求書」は、成績開示期間中に本学ウェブサイトからダウンロードできます。

また、入学した試験日程の成績については、入学直後に発行される学生証により、学内に設置された証明書自動発行機で開示されます。

(3) 期間

令和4年5月2日(月)～令和4年5月31日(火)(必着)

※消印有効ではありません。

窓口受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

16 医学部・薬学部・総合生命理学部試験場及び学生課入試係案内

交通案内については参考として掲載しております。必ず直前にご自身で確認の上、利用してください。

【路線図】

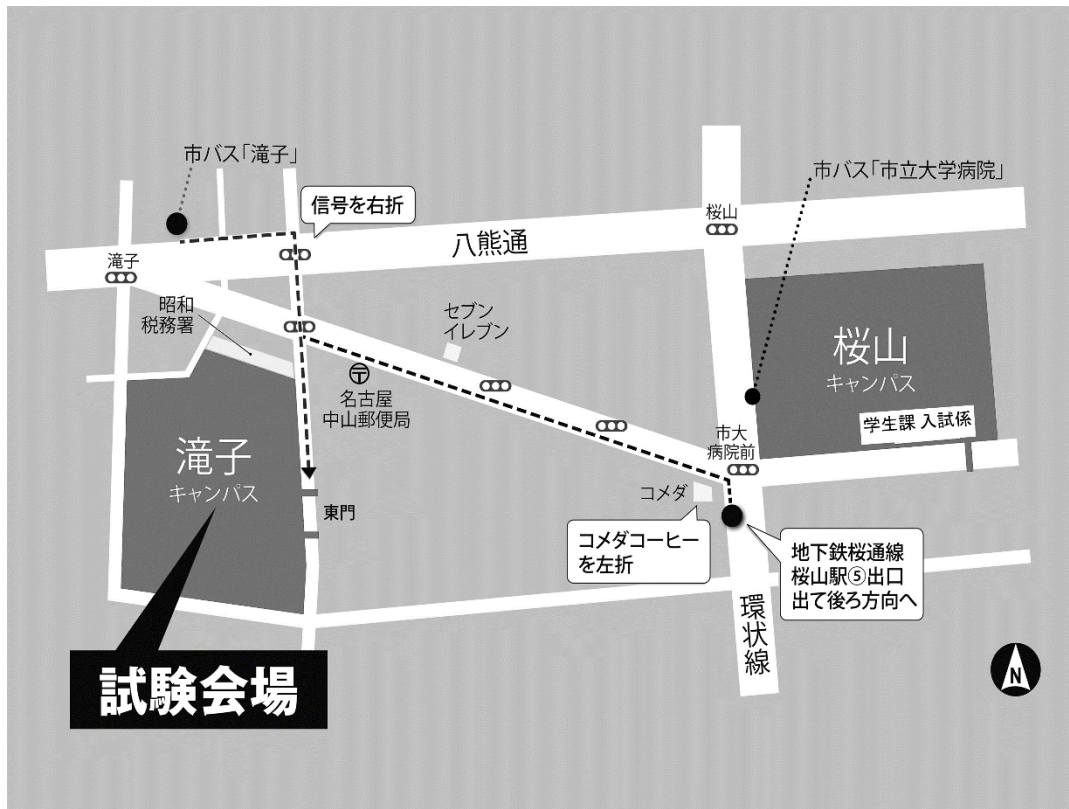


敷地内全面禁煙について

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにもこの方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

20歳未満の喫煙は法律で禁止されていますが、喫煙が健康に及ぼす悪影響に鑑み、皆さんが本学入学後、喫煙者とならないよう強く希望します。

【付近図】



地下鉄

路線名	下車駅	備 考
桜通線	桜 山	滝子キャンパスへは5番出口から徒歩約10分

市バス

バス停	のりば	市バス経路			下車するバス停	備 考
		系統	起点	行先		
金山バスターミナル	7番	金山11	金 山	池 下	滝 子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滝子通2丁目は一つ手前のバス停ですから注意してください ・ バス所要時間はいずれも約15分 ・ バス停「滝子」から滝子キャンパスまでは徒歩数分
		金山16		瑞穂運動場東		
		金山12		妙見町		
				桜山経由金山		
	8番	金山14		桜山経由瑞穂運動場東		

17 教養教育・医学部・薬学部・経済学部・芸術工学部・看護学部・総合生命理学部の概要

教養教育・専門教育いずれも令和3年度の授業科目を紹介しています。

(1) 教養教育

社会の一員として自己のあり方を認識し、自らよりよき生き方を探求し、あわせて社会全体の幸福の実現に向けて貢献ができるよう、人間形成を図るとともに、専門教育への確かな土台を築くことを意図して、下記のような授業科目を開設し、体系的な教育課程を編成しています。

区 分		科 目 名
共 通 科 目	大学特色科目	主体的学習のための基礎演習 心豊かに健康に生きるための学び キャリア形成に備えた学び キャリアに関わる学び NCU先端科目(医療系 自然・情報系 社会科学系 人文系) 地域社会で活躍する女性 共生社会におけるふれあいネットワーク 現代社会と人と地域のつながり 名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題 ESDと地域の環境 多文化共生と国際貢献 ワークライフバランスとダイバーシティ まちづくり論 次世代エネルギーワークショップ 起業家になる 科学館・博物館・美術館から知る名古屋 中国短期語学研修 フランス短期語学研修
	現代社会の諸相	日本国憲法 なぜ憲法が必要なのか 法学入門 知的財産権入門 人と法と医療 経済と社会 経済のしくみ 経済学の考え方 企業と社会、個人の関係 企業活動の諸相 組織を取り巻く諸環境について 社会学 社会環境論 新聞報道の現場から 環境行動学と情報リテラシー 平和論 私たちの暮らしと政治・行政・地方自治 国際政治と社会 フィールド研究からみるアジア キー・コンピテンシー シティズンシップ入門
	文化と人間性の探求	琉球・沖縄の歴史・文化を識る 日本文化の理解 人類学 日本語コミュニケーション 囲碁に学ぶ 死の文化学 東ヨーロッパの文化と歴史 文化に見る歴史 欧州史の中の北欧史 アメリカ史入門 都市と地域構造の地理学 音楽と文化 デザインと情報 人間と表現 自分とみんなで考える哲学 討論の中で問題を発見する哲学 応用倫理学ー生命倫理の現在 心理学概論 心理学入門 現代教育の諸相 次世代育成と地域の課題 宗教学入門
	人間と自然	科学史 環境と社会・制度・政治・経済 環境科学 植物の多様性と環境 動物とヒトの進化多様性 社会と医学 くすりと社会 都市と自然 健康と生活 行動生態学
	自然と数理の探求	教養として知っておきたい様々な病気の実態 創薬と生命 宇宙のなりたち 植物とバイオテクノロジー エネルギーのサイエンス バイオサイエンス入門 情報と数理の世界 地球史入門 地域生態学
	英 語	IS: Community IS: Social Justice IS: Life & Work IS: Health & Well-being IS: The Arts AE: Make a Difference in Your Community AE: Interact Internationally AE: Improve Life Skills AE: Raise Health/Environmental Awareness AE: Produce a Movie CS: Presentation CS: Grammar and Usage CS: TOEIC Preparation EM: World News EM: Popular Culture EM: Reading for Inspiration EM: Online Articles and Videos
	その他の言語	ドイツ語初級・初級会話 フランス語初級・初級会話 中国語初級・初級会話 韓国語初級 スペイン語初級 日本手話初級 ポルトガル語入門 ロシア語入門 イタリア語入門 アラビア語入門
	情報科目	情報・統計処理 情報処理基礎 情報処理応用 情報処理 情報検索基礎
	健康・スポーツ科目	健康・スポーツ科学 健康・スポーツ実技
	ボランティア科目	
基 礎 科 目	物 理 学	物理学基礎 力学 電磁気学 波動・熱力学
	化 学	化学概論 化学基礎 化学熱力学基礎 有機化学 生体分子化学
	生 物 学	基礎生物学 生物学基礎 生物学
	自然科学実験	自然科学実験
	数学・統計学	微分積分学 線形代数学Ⅰ・Ⅱ 数学A1・A2 数学B1・B2 統計学A・B 数学基礎 応用数学 数学基礎演習 応用数学演習
	地域参加型学習	医薬看連携地域参加型学習 地域連携参加型学習
	早期体験学習	生命薬科学研究入門
	看護基礎	基礎科学 家族社会学

※ 学部によって、履修可能な科目が異なります。

※ それぞれの母語科目を履修してその他の言語の必要単位とすることはできません。

(2) 専門教育

ア 医学部

医学は人の健康を守ることによって、人類と社会の福祉に貢献することを使命としています。そのために人体の複雑な構造と機能を多方面から理解把握し、それらの構造と機能の異常に基づく各種疾病についての知識を十二分に身につけ、的確な診断と適切に予防・治療できる能力ならびに医学の科学的発展に貢献しうる能力を養います。

また疾病と社会環境ならびに生活環境との関連性についても学びます。

区 分	授 業 科 目	
	コース名	ユ ニ ッ ト 名
基 礎 医 学	解剖学コース	肉眼解剖学
		組織学・発生学・神経解剖学
	生化学コース	物質と代謝
		分子と細胞
	生理学コース	植物的機能系
		動物的機能系
臨 床 基 礎 医 学	病理学コース	病態病理
		臨床病理
	薬理学コース	薬理学
	感染微生物コース	医動物学
		細菌学
		ウイルス学
	免疫学コース	免疫学
社 会 医 学	社会医学コース	予防医学基礎
		予防医学応用
		法医学
		法医診断学
		医学・医療倫理
		医学情報学
臨 床 医 学	臨床医学コース	血液・造血器・リンパ系
		神経系（神経内科）
		神経系（脳神経外科）
		皮膚系
		運動器系・リハビリテーション
		循環器系
		呼吸器系
		消化器系・内視鏡
		腎・尿路系（腎臓内科）
		腎・尿路系（泌尿器科）
		生殖機能（泌尿器科）
		生殖機能（婦人科）
		妊娠と分娩
		乳房
		内分泌・栄養・代謝系
		眼・視覚系
		耳鼻・咽喉・口腔系
		精神系
		臨床感染症学
		成長と発達／発生
		急性期医療

区 分	授 業 科 目	
	コース名	ユ ニ ッ ト 名
臨 床 医 学	臨床医学コース	食事と栄養療法
		放射線等を用いる診断と治療
		輸血と移植
		膠原病
		臨床腫瘍学
		救急科
		漢方医学
臨床処方学		
臨 床 実 習	臨床実習コース	臨床実習
		選択制臨床実習
統 合 教 育	総合医学コース	医学入門
		神経科学
		水平統合基礎
		水平統合病態
	行動科学・地域医療学コース	コミュニティ・ヘルスケア基礎（IPE）
		コミュニティ・ヘルスケア応用（IPE）
		コミュニティ・ヘルスケア発展（IPE）
		コミュニティ・ヘルスケア実践（IPE）
		疼痛科学
	研究能力養成コース	学術論文入門
		Scientific Writing and Presentation
		先端研究
	臨床能力養成コース	基礎自主研修
		救命救急
	選 択 制 コー ス	臨床診断推論
基本臨床技能実習		
MD-PhD コース		
		BRJ活動

イ 薬学部 薬学科（6年制）・生命薬科学科（4年制）

「カリキュラムの概要と進路」

薬学科では、医薬品と薬物療法に関わる医療科学を総合的に学び、薬剤師国家試験の受験資格を得ることができます。薬剤師をはじめ、医療に関わる種々の分野に貢献できる人材を育成することを目指した6年間の教育課程となっています。

生命薬科学科では、創薬生命科学の基礎から先端にいたる幅広い知識を学びます。それを基盤にした医薬品の開発研究者をはじめ、生命科学と医療の発展に貢献できる人材を育成することを目指した4年間の教育課程となっています。

両学科の教育課程ともに、講義、実習、卒業研究を通じて体系的かつ実践的に専門能力を身に付けることができるようになっていきます。また、これまで薬学部卒業生の多くは大学院に進学し、さらに高度な創薬生命科学又は医療機能薬学を身に付けた上で、医薬品の開発研究者や高度医療に貢献する薬剤師として活躍しています。

区 分	科 目 名
基礎薬学科目	薬学概論Ⅰ・Ⅱ 先端薬科学 機能形態学Ⅰ・Ⅱ 薬学物理化学Ⅰ～Ⅲ 構造生物学 薬品分析化学 機器分析化学 薬学有機化学Ⅰ・Ⅱ 薬学無機化学 基礎生物化学 生物薬品化学Ⅰ・Ⅱ 衛生化学 環境衛生学 微生物薬品学 細胞生物学 生薬学Ⅰ・Ⅱ 漢方薬物治療学 医薬品代謝学 放射薬品学 薬理学Ⅰ～Ⅳ 臨床薬理学Ⅰ・Ⅱ 薬剤学Ⅰ・Ⅱ 製剤学Ⅰ・Ⅱ 有機反応化学Ⅰ～Ⅳ 免疫学 病態生化学 医薬品情報学 医療経済学 生物統計学Ⅰ・Ⅱ 薬事関連法・制度Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ 薬学英語Ⅰ～Ⅳ 医薬品化学 生物有機化学
医療薬学科目 ^{a)}	薬局管理学 医療薬学Ⅰ～Ⅵ
生命薬科学科目 ^{b)}	有機金属化学 コロイド・高分子科学 バイオインフォマティクス ケミカルバイオロジー 分子感染症学 分子神経科学 ドラッグデリバリー論 創薬科学・知的財産活用論 生命薬学技術
演習科目	有機化学演習 薬学情報処理演習 プレゼンテーション演習 基礎薬学演習 薬学演習Ⅰ・Ⅱ 薬学特別演習 生命薬科学演習
実習科目	薬学実習（物理系実習Ⅰ～Ⅲ、化学系実習Ⅰ～Ⅳ、生物系実習Ⅰ～Ⅳ、医療機能系実習Ⅰ～Ⅲ） 臨床薬学実務実習Ⅰ～Ⅲ（事前学習、病院実習、保険薬局実習） ^{a)} 卒業研究実習
コミュニティ・ヘルスケア 卒前教育 ^{a)}	コミュニティ・ヘルスケア基礎・応用・発展・実践

a) 薬学科のみで履修する科目 ; b) 主に生命薬科学科のみで履修する科目 ; 他の科目は両学科共通

ウ 経済学部 公共政策学科・マネジメントシステム学科・会計ファイナンス学科

経済現象の解明には、経験科学としての論理・実証分析が重要視されるので、政策や経営に関心を抱くと共に数理的な思考・分析能力、歴史的洞察力が必要です。

[公共政策学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学科基礎科目	マクロ経済学 ミクロ経済学 公共経済学 国際経済学 金融論 財政学 経済史 情報処理論 簿記論 データ分析基礎 統計分析基礎 現代統治機構論 行政法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政 経済学史
学科応用展開科目	金融政策論 社会保障論 インセンティブの経済学 公共政策 地方財政論 租税論 産業組織論 実験経済学 国際公共政策論 経済開発論 医療経済学 応用マクロ政策 応用公共政策 都市経済学 国際金融論 行政学 日本経済史 外国経済史 国際経済関係論 労働市場政策 人事経済学 金融システム論 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 計量経済学 会社法 知的財産法 民法 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

[マネジメントシステム学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学科基礎科目	経営組織 経営戦略 組織行動 企業論 イノベーション・マネジメント マーケティング 労働経済学 制度経済学 経済学史 経済史 世界経済論 国際経済学 情報処理論 簿記論 データ分析基礎 財務分析 財務会計 会社法 知的財産法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政 管理会計
学科応用展開科目	変革マネジメント 制度と文化のマネジメント 経営管理 人材マネジメント 国際経営論 商品開発 消費者行動論 決定と知識のマネジメント 生産管理 地域企業活性化論 日本経営史 日本経済史 外国経済史 外国経営史 国際経済関係論 労働市場政策 人事経済学 事例研究特論 マクロ経済学 ミクロ経済学 公共経済学 金融論 財政学 インセンティブの経済学 産業組織論 経済開発論 国際金融論 行政学 企業ファイナンス 統計分析基礎 応用財務分析 コーポレートガバナンス 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

[会計ファイナンス学科]

区 分	科 目 名
学部共通科目	入門経済学 入門会計学 入門経営学 経済経営数学 入門ファイナンス 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ
学科基礎科目	情報処理論 簿記論 企業ファイナンス 先物・オプション入門 データ分析基礎 統計分析基礎 財務分析 財務会計 管理会計 マクロ経済学 ミクロ経済学 金融論 財政学 企業論 経営組織 経営戦略 マーケティング 会社法 現代経済・経営特論Ⅰ 現代経済・経営特殊講義 名古屋と行政
学科応用展開科目	応用財務分析 税務会計 監査論 コーポレートガバナンス ファイナンス分析 簿記実務 会計実務 ファイナンス実務 財務情報処理 応用企業ファイナンス 金融システム論 証券投資論 経営情報学 オペレーションズ・リサーチ 計量経済学 金融政策論 国際金融論 行政学 組織行動 イノベーション・マネジメント 労働経済学 経営管理 人材マネジメント 国際経営論 商品開発 消費者行動論 知的財産法 民法 租税法 経済法 労働法 日本経済・経営 環境経済学 現代経済・経営特論Ⅱ Research and Presentation Research and Discussion

エ 芸術工学部 情報環境デザイン学科・産業イノベーションデザイン学科・建築都市デザイン学科

〔情報環境デザイン学科〕

区 分	科 目 名
学部共通科目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 色彩論 デザイン材料論 人間工学 ユニバーサルデザイン 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(D) 構成発想法 表現技法 CG表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 マーチャンダイジングデザイン論 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学部共通実習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基礎科目	インタラクションデザイン論 サウンドデザイン論 映像論 映像表現論 感性表象論 画像情報処理 画像情報処理演習 メディア工学 メディア工学演習 情報通信工学 情報通信工学演習 データサイエンス データサイエンス演習
展開科目	情報処理応用 感性工学 ユーザビリティ工学 ユーザビリティ工学演習 音楽情報論 映像プロデュース論 プロダクトデザイン論 デザイン人類学 広告論
実 習	芸術工学実習(D) 1～6
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

〔産業イノベーションデザイン学科〕

区 分	科 目 名
学部共通科目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 色彩論 デザイン材料論 人間工学 ユニバーサルデザイン 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(D) 構成発想法 表現技法 CG表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 マーチャンダイジングデザイン論 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学部共通実習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基礎科目	ビジュアルデザイン論 コンピュータグラフィックス論 プロダクトデザイン論 視覚環境デザイン論 光電子工学 光電子工学演習 ロボット工学 ロボット工学演習 生体情報工学 生体情報工学演習
展開科目	広告論 視覚情報記号論 デザイン人類学 プロトタイピング工学 プロトタイピング工学演習 音楽情報論 インタラクションデザイン論 感性工学 映像プロデュース論 流体工学 流体工学演習 情報通信工学 情報通信工学演習 ユーザビリティ工学 ユーザビリティ工学演習
実 習	芸術工学実習(D) 1～6
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

〔建築都市デザイン学科〕

区 分	科 目 名
学部共通科目	芸術工学概論A 芸術工学概論B 色彩論 デザイン材料論 人間工学 ユニバーサルデザイン 情報工学基礎 実験計画法・統計処理法 美術・デザイン史 美術・デザイン論 構成(A) 構成発想法 表現技法 CG表現技法 心理学 力学基礎 知的財産関連法規 マーチャンダイジングデザイン論 都市論 ランドスケープ論 芸術工学英語A 芸術工学英語B
学部共通実習	建築デジタルデザイン実習 地域連携デザインワークショップ デザインワークショップ 社会貢献プロジェクト 芸術工学インターンシップ
基礎科目	建築史 都市計画 建築環境工学 建築環境工学演習 建築構造学 建築計画 建築計画2 近現代建築史 構造力学 構造力学演習 建築環境心理論
展開科目	都市建築関連法規 建築材料 建築材料実験 建築環境計画 建築環境設備計画演習 建築設備論 建築設備設計学 スペースデザイン 建築構造計画法 構造設計法 建築生産 建築計画3 都市住環境論 地域空間構成論 都市景観デザイン論 ファシリティマネジメント論 建築家の仕事
実 習	芸術工学実習(A) 1～6 建築表現実習1 建築表現実習2 建築都市フィールドワーク
卒 論 等	卒業制作及び卒業研究

オ 看護学部

区 分	科 目 名
専 門 基 礎 科 目	臨床国際コミュニケーション I, II
	人体の構造と機能 I, II 臨床栄養学 疾病・治療論 I～VI 臨床発達心理学
	疫学 保健統計学 I, II 社会保障制度論 医療社会学 健康科学 国際保健活動論 保健医療福祉行政論
専 門 科 目	看護学概論 I～IV 看護援助論 IA, IB, IC, ID, II, III
	生涯発達看護論 I～III 生涯発達看護援助論 I～III
	クリティカルケア看護論 クリティカルケア看護援助論 セルフマネジメント看護論 セルフマネジメント看護援助論 リハビリテーション看護論 精神療養生活看護論 地域療養生活看護論 地域療養生活看護援助論 緩和ケア看護論
	看護演習 看護技術リファレンス 看護提供システム論 I, II 看護研究 I, II
	看護援助論実習 I, II 臨地実習 A～J
	健康支援看護学 I～V ケアシステム看護学 I～IV
	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護活動論 I～V 公衆衛生看護管理論 I, II 公衆衛生看護学実習 A, B
コミュニティ・ヘルスケア 卒 前 教 育	コミュニティ・ヘルスケア基礎・応用・発展・実践

カ 総合生命理学部

区 分	科 目 名
専 門 基 礎 科 目	総合理学概論 A, B 総合理学実験入門 生命科学実験 物質科学実験 生態学 基礎生理学 適応生理学 進化学 I 生物統計学 生命情報学 I 生化学 分子生理学 細胞生物学 分子生物学 I 物理化学 有機元素化学 物理数学 地学概論 幾何学 代数学 解析学 プログラミング I 情報処理発展
専 門 科 目	生命科学科目 生態測定学 応用生理学 古生物学 進化学 II 生命情報学 II 植物生理学 応用生物学 発生生物学 生物機能化学 分子遺伝学 分子生物学 II クロマチン生物化学 総合神経科学 放射線生物学 生命科学各論
	物質科学科目 機器分析化学 量子力学 統計力学 物性物理学 天体物理学 物質科学各論
	数理情報 科学科目 幾何・代数学 応用統計学 情報数学 A, B プログラミング II 数理情報科学各論
卒業研究関連科目	総合理学実習 専門演習 I～III 卒業研究 I～III
外 国 語 科 目	自然科学英語 グローバルコミュニケーション
専 門 関 連 科 目	総合博物学 理科教育法 1, 2 教育学概論 2 教職概論 2 教育制度論 学校教育心理学 特別支援教育 2 教育課程論 教育社会学 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法論 2 生徒・進路指導論 教育相談 高等学校教育実習 教職実践演習 (中・高)

<注意>

学生募集要項および出願書類所定用紙は名古屋市立大学ウェブサイトのみで公表し、紙媒体での配布は行っていません。

■連絡先：名古屋市立大学 学生課入試係 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
TEL(052)853-8020 FAX(052)841-7428 E-mail : shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp

●令和3年10月公表